

江東区議会議員 榎本雄一 様

コロナ感染の爆発的拡大下における五輪祝賀イベントの中止を求める陳情

受理年月日 2021年6月1日

【趣旨】

コロナ感染の爆発的拡大のさなかにおいて感染予防に反する聖火リレーを中止してください。

【理由】

変異株の爆発的拡大が続いている

区内における感染の爆発的拡大の状況は、今年1月の1170件から一時は2月280件、3月296件と減少傾向にありましたが、4月には533件、5月は719件と増加しており、感染者数も5月30日時点で合計5,245名に上っています。コロナウイルス感染症は治療法が確立されておらず、何よりも予防措置が重要です。現在、爆発的に拡大している第四波では感染力の強い変異株が確認されており、今後の感染防止如何によっては感染力の強い変異株を中心とした第五波になる恐れがあります。ワクチン接種も変異株への対応能力は未知数です。区の施設を使った各種イベントの中止および施設の一時閉鎖をはじめ、区内の飲食店など経済活動の自粛など、予防第一の観点から区民が苦渋の選択として受け入れている事は、議長はじめ各委員の皆様もよくご存じだと思います。

オリパラのバブル方式は穴だらけ

いっぽう、区内には7月23日から9月5日のおよそ一か月半の長期にわたって開催されるオリンピック・パラリンピックの競技用施設が10施設、ビッグサイトには放送・報道センター、そして大会関係者の宿泊先も多数存在し、選手村も隣接することから、より一層の予防措置および区民への喚起が必要となります。主催者である国際オリンピック委員会（IOC）の責任者は「緊急事態宣言下でも（バブル方式で）開催は可能という報告を受けている」などと発言していますが、そのように進言した組織委員会、五輪担当大臣（国）、東京都などが4月末に開催したオリパラ感染対策会議の資料を読んでも、入国前の健康管理は自己申告制、入国検疫における大幅な規制緩和（検出率の低い抗体検査のみで隔離期間もなし）、健康管理アプリについては5月テスト大会では一人も実装テストをしていない、本来は2週間隔離の上での経過観察が必要な濃厚接触者であっても試合出場も可能という、感染の爆発的拡大にある東京で開催する国際メガイイベントとしては、あり得ないほどの緩い対策です。頼みの綱のバブル方式は、バブル内のアスリートとの接触は一定程度制限しますが、問題はバブルの内側よりも多数となるバブルの外側の人流のほうです。

予防も感染も自己責任

バブルの外側にいる大会関係者（放送・報道関係者含む）約8万人の健康管理は、せいぜい四日に一度のPCR検査程度（対処療法）、行動制限に至っては困難です。さらには子どもらを含む観客動員を模索するなど、オリパラ実施に伴う国内の人流に至っては行動制限も健康管理もない自己責任に任せ、区内のホテルや公共交通による不急不要の人流をつくり出すこととなります。この人流を管理する方法はどこからも提示されていません。IOCは「感染は自己責任」とする誓約書をアスリートに署名するよう求めており、大会関係者以外の感染予防の責任は開催都市にあるとしています。組織委員会や東京都においては、江東区をはじめとする「バブル方式」の外側における感染予防および感染拡大防止の具体的な措置を示しておらず、地域住民や医療従事者らは「感染は自己責任にされる」という不安をますます募らせています。

オリパラが最大の感染リスク

以上に鑑み、区としてはこれまで以上に「予防第一」の緊張感を持つ必要があります。東京オリンピックは国や都の感染予防対策にとっても大きなリスクになることは、政府の新型コロナウイルス対策分科会の尾身茂会長が5月31日の参院決算委員会で「(東京オリパラに関して) 普通にしていれば人流が増えて接触機会が増えることはほぼ間違いない」「国内での感染拡大リスクに対してどのような対策を取るか、今から考えておいたほうが良い」と発言したことで明らかです。つまり東京オリンピックが感染拡大の最大のリスクイベントになっているのです。感染症対策では対処療法よりも予防が重要になることから、オリンピック開催直前の本議会において、区内で行われる五輪関連イベントの中止を求める陳情や請願の採択と実行こそ、区民の健康と命を守る最重要の施策になります。

祝賀イベント中止による予防措置を

聖火リレー当日には区の職員約300人が交通整理などの業務に従事し、約1900名の登録ボランティアが聖火リレーの運営をサポートすると言われています。聖火リレーの目的は「オリンピックを広め、きたるオリンピックへの関心と期待を呼び起こす役目」とされており、毎日全国を走っているリレーはその日の終わりに「セレブレーションイベント」つまり「祝賀イベント」を実施しています。江東区においても大会機運の醸成のために、聖火リレーに3919万円の予算を計上しています。しかし聖火リレーを行い「祝賀ムード」を醸成することは、不必要な人流をつくり出すだけでなく、「祝賀」というアナウンス効果によって感染予防における区民の気の緩みを促すことになり、予防対策の効果を損なうこととなります。逆に、聖火リレー中止は区政によるコロナ予防の本気度を区民に示すことになると思います。